

第3回 建設産業戦略会議 議事概要

日 時：平成23年1月6日（木）10：00～11：30

場 所：中央合同庁舎3号館 4階幹部コーナールーム1

- 冒頭、大臣より、「低成長時代における、所管産業に対する国土交通省の役割を果たしていくため、建設産業の進むべき方向について、しっかりと道筋を提示してもらいたい」旨のご挨拶があった。
- 基本方針のとりまとめに向けた審議を行い、各委員から、以下のようなご発言があった。
 - ・ 公正な競争基盤の確立、再編への取組の促進等、建設産業戦略2007で掲げた方向性は今も共通。今回の方針は、2007を踏まえた当面の基本方針であることを示すべき。
 - ・ 新市場の創出と適正な競争環境の整備、構造改善・生産性向上による競争力強化の取組が重要。
 - ・ 保険未加入企業の排除は画期的。短期雇用や一人親方の問題もあるので、直接的・安定的な雇用を重視していくことも示すべき。
 - ・ 今後、客観的事実に基づいた業界の道筋を示すことが必要。それにより、国民に建設業界の現状認識を共有してもらうことが重要。また、競争と公平性のバランスに留意が必要。
 - ・ 技術系職員の不足等、地方公共団体の発注部局の課題をカバーする施策についても検討が必要。
 - ・ 日本の品質管理、現場の安全管理は高水準。そういう当たり前の技術をきっちりと売り込むべき。政府も一緒になって海外戦略を検討する必要。
 - ・ 海外市場やPPP等による新市場の創出は極めて重要。
- 審議の結果、基本方針がとりまとめられた。（座長に修正を一任）

【今後の予定】

- 3月までに中間とりまとめ、6月までに最終とりまとめを行う予定。